

I.M. 第6組
実行副委員長 小林 君夫
(大阪大手前RC)

ホスト:大阪大手前RC(会長 松浦貞男)

日 時:2008年1月26日(土) 13:00～16:40

場 所:グランキューブ大阪(大阪国際会議場)

参加クラブ:大阪RC、大阪東RC、大阪中之島RC、大阪城北RC、
大阪天満橋RC、大阪鶴見RC、大阪淀川RC、新大阪RC、
大阪城東RC、大阪東淀RC、大阪大手前RC(以上11クラブ)

登録者数:818名

出席者数:174名

私たち大阪大手前RCがホストを務めました本年のI.M.は、環境問題を取りあげ、環境問題に根本的にかかわってくる「エネルギー問題」に焦点を絞り、現在私たちが日常大量消費を続けている石油に代表されるエネルギー資源の現状といずれ枯渇するであろう近未来にどう備えるかという観点から、I.M.のテーマを「地球環境とエネルギー ～その真実～」といたしました。

新谷秀一Gにご報告し、山本武男G補佐にご指導をいただきながら基調講演をやっていただく先生とその後にパネルディスカッションをお願いするパネラーの先生、コーディネーターをお願いする先生を決めさせていただき作業に入り、交渉を進め、下記の先生方に快諾を得、基調講演のテーマも“エネルギーピークに備える「日本のプランB」”と決定し準備を進めました。

- ・ 基調講演 エネルギーピークに備える「日本のプランB」
講 師 東京大学名誉教授 石井吉徳氏
- ・ パネルディスカッション
パネリスト 京都大学教授 植田和弘氏
" 京都女子大学教授 槇村久子氏
" 東京大学名誉教授 石井吉徳氏
コーディネーター 佛教大学教授 内藤正明氏

石井吉徳先生は、東京大学を卒業後、帝国石油(株)などに16年間勤務の工学博士で06年より「もったいない学会」会長、「石油最終争奪戦」「石油ピークが来た」等の書を最近発刊されています。

石井先生は、基調講演で次のようなことを中心にエネルギーピークに備えるために私たち日本人はどう考え、どう対応すべきかを図表等を示して判りやすくお話いただきました。